

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成25年4月18日(2013.4.18)

【公開番号】特開2012-255172(P2012-255172A)

【公開日】平成24年12月27日(2012.12.27)

【年通号数】公開・登録公報2012-055

【出願番号】特願2012-197327(P2012-197327)

【国際特許分類】

| | |
|---------------|-----------|
| C 09 J 133/04 | (2006.01) |
| C 09 J 183/12 | (2006.01) |
| C 09 J 7/02 | (2006.01) |
| C 09 J 11/06 | (2006.01) |
| G 02 B 5/30 | (2006.01) |
| C 08 L 33/14 | (2006.01) |
| C 08 L 71/02 | (2006.01) |
| C 08 G 65/336 | (2006.01) |

【F I】

| | |
|---------------|---|
| C 09 J 133/04 | |
| C 09 J 183/12 | |
| C 09 J 7/02 | Z |
| C 09 J 11/06 | |
| G 02 B 5/30 | |
| C 08 L 33/14 | |
| C 08 L 71/02 | |
| C 08 G 65/336 | |

【手続補正書】

【提出日】平成25年2月28日(2013.2.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項3】

ポリエーテル化合物(B)が、

一般式(2) : R_aM_{3-a}Si-X-Y-(AO)_n-Z

(式中、Rは、置換基を有していてもよい、炭素数1~20の1価の有機基であり、Mは水酸基又は加水分解性基であり、aは0~2の整数である。但し、Rが複数存在するとき複数のRは互いに同一であっても異なっていてもよく、Mが複数存在するとき複数のMは互いに同一であっても異なっていてもよい。AOは、直鎖または分岐鎖の炭素数1~10のオキシアルキレン基を示し、nは1~1700であり、オキシアルキレン基の平均付加モル数を示す。Xは、炭素数1~20の直鎖または分岐鎖のアルキレン基を示す。Yは、エーテル結合、エステル結合、ウレタン結合、またはカーボネート結合を示す。

Zは、水素原子、1価の炭素数1~10の炭化水素基、

一般式(2A) : -Y¹-X-SiR_aM_{3-a}

(式中、R、M、Xは、前記と同じ。Y¹は単結合、-CO-結合、-CONH-結合、または-COO-結合を示す。)、または、

一般式(2B) : -Q{-OAO_n-Y-X-SiR_aM_{3-a}}_m

(式中、R、M、X、Yは、前記と同じ。OAは前記のAOに同じで、nは前記と同じ。

Qは、2価以上の炭素数1～10の炭化水素基であり、mは当該炭化水素基の「価数-1」と同じ。)で表される基である。)で表される化合物であることを特徴とする請求項2記載の光学フィルム用粘着剤組成物。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

上記光学フィルム用粘着剤組成物において、ポリエーテル化合物(B)としては、

一般式(2) : $R_a M_{3-a} Si - X - Y - (AO)_n - Z$

(式中、Rは、置換基を有していてもよい、炭素数1～20の1価の有機基であり、Mは水酸基又は加水分解性基であり、aは0～2の整数である。但し、Rが複数存在するとき複数のRは互いに同一であっても異なっていてもよく、Mが複数存在するとき複数のMは互いに同一であっても異なっていてもよい。AOは、直鎖または分岐鎖の炭素数1～10のオキシアルキレン基を示し、nは1～1700であり、オキシアルキレン基の平均付加モル数を示す。Xは、炭素数1～20の直鎖または分岐鎖のアルキレン基を示す。Yは、エーテル結合、エステル結合、ウレタン結合、またはカーボネート結合を示す。

Zは、水素原子、1価の炭素数1～10の炭化水素基、

一般式(2A) : $- Y^1 - X - Si R_a M_{3-a}$

(式中、R、M、Xは、前記と同じ。Y¹は単結合、-CO-結合、-CONH-結合、または-COO-結合を示す。)、または、

一般式(2B) : $- Q \{ - (OA)_n - Y - X - Si R_a M_{3-a} \}_m$

(式中、R、M、X、Yは、前記と同じ。OAは前記のAOに同じで、nは前記と同じ。Qは、2価以上の炭素数1～10の炭化水素基であり、mは当該炭化水素基の「価数-1」と同じ。)で表される基である。)で表される化合物が好ましい。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0060

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0060】

前記ポリエーテル化合物(B)としては、

一般式(2) : $R_a M_{3-a} Si - X - Y - (AO)_n - Z$

(式中、Rは、置換基を有していてもよい、炭素数1～20の1価の有機基であり、Mは水酸基又は加水分解性基であり、aは0～2の整数である。但し、Rが複数存在するとき複数のRは互いに同一であっても異なっていてもよく、Mが複数存在するとき複数のMは互いに同一であっても異なっていてもよい。AOは、直鎖または分岐鎖の炭素数1～10のオキシアルキレン基を示し、nは1～1700であり、オキシアルキレン基の平均付加モル数を示す。Xは、炭素数1～20の直鎖または分岐鎖のアルキレン基を示す。Yは、エーテル結合、エステル結合、ウレタン結合、またはカーボネート結合を示す。

Zは、水素原子、1価の炭素数1～10の炭化水素基、

一般式(2A) : $- Y^1 - X - Si R_a M_{3-a}$

(式中、R、M、Xは、前記と同じ。Y¹は単結合、-CO-結合、-CONH-結合、または-COO-結合を示す。)、または、

一般式(2B) : $- Q \{ - (OA)_n - Y - X - Si R_a M_{3-a} \}_m$

(式中、R、M、X、Yは、前記と同じ。OAは前記のAOに同じで、nは前記と同じ。Qは、2価以上の炭素数1～10の炭化水素基であり、mは当該炭化水素基の「価数-1」

上と同じ。)で表される基である。)で表される化合物があげられる。